

新たな食料・農業・農村基本計画の策定に向けた公開討論会概要

日 時：平成22年2月6日（土） 13:30～

場 所：福井テレビホール大ホール（福井県福井市問屋町）

〈概要〉

1. 基調講演（郡司副大臣）

- ・農林漁業の再生に向けて、戸別所得補償制度を導入し、食料自給率を10年後には50%、20年後には60%を目指す。
- ・農業を取り巻く大きな問題の1つが、農家所得の減少。平成2年の6.1兆円が平成19年には3.2兆円に約半減。対策の一つが戸別所得補償制度。今までの生産調整を見直し、作らないことから作ることへ支援を行う。
- ・もう一つの大きな問題が、地域の疲弊。地域の再生に向けて、6次産業化を訴えていく。第1次産業に携わる方が意欲を持って取り組めるための支援体制を作っていく。
- ・食の安全については、GAP、HACCP、市場のコールドチェーン化、トレーサビリティを導入したい。米や牛肉のトレーサビリティは法制化されたが、他の食べ物についても考えていきたい。
- ・食料をめぐる国際的問題も課題。世界の栄養不足人口が10億人に増え、食料危機が叫ばれている一方で、先進国では飽食が問題となっている。21世紀は、人口、環境、食の問題が大きな課題。日本で培ってきた技術を世界の人々が飢えないために使いたい。
- ・美しい日本の風景は、農林漁業がしっかりと営まれることでこそ維持される。皆さんとともに手を取り合って頑張っていきたい。

2. パネルディスカッション第1部

食料自給率、戸別所得補償制度、食の安全・安心について討論。

食料自給率については、生産者と消費者の意識の差についての議論が展開された。

戸別所得補償制度の導入については、一定の評価があったが、国民への理解浸透が課題との意見が挙げられた。

食の安全・安心については、消費者に見える取組を行うことが必要との議論が展開された。

主な発言、意見は以下のとおり。

- ・食料自給率の低下に危機感を持つのは都市に住む人で、農村に住んでいると自給率の低さを感じない。
- ・数字に踊らされているのではないか。自給率があがっても、農家の所得があが

るわけではない。

- ・ 戸別所得補償制度により、生産過多となり、米価の下落を招くのではないかと。1万5千円安く米を買えるのではないかとされていて、さらなる価格低下を招かないか。
- ・ 農家が安心して農業を営めるという点で良い制度。兼業農家も自給的農家も農地を守っていることを理解してもらわなければならない。今回の制度については消費者への説明がまだまだ足りない。
- ・ 大規模、効率化を追求すると平野部の農地ばかりが利用され、中山間地は荒廃していく。中山間地には助けとなる制度だが、全国一律は大雑把すぎる。
- ・ 生産者は今まで販売を他人任せにしていた。作っている人の顔が見えるのが、食の安全・安心には一番よい。
- ・ 食の安全・安心への関心は、都会に住む人の方が高い。体験させて、見せることが重要ではないか。
- ・ 生産者の高齢化が進んでおり、これからの農業で人材育成は非常に重要。

3. パネルディスカッション第2部

J A越前たけふ富田理事長から、安全・安心に加え、おいしさを追求したお米作りへの取組を紹介いただいた後、6次産業化をテーマに、地域で成果をあげてきたパネリストの成功体験を紹介し、これらに共通する点や、今後地域が元気になるための展開方向について討論。

主な発言、意見は以下のとおり。

- ・ どのようにネットワークを作るかが大事。意欲のある人を見つけ、手を組めば、輪はどんどん広がっていく。
- ・ キーワードは「視点を変える」。昔作付けていた作物が今はなくなってしまったことは、「なくなってしまった」ではなくて「これからまた作付けられる」ということ。たくさん存在する人のやっていない領域は、多様性と展開の仕方にほかならない。コストや苦労やリスクも、商品が消費者が選択してくれれば、それは「付加価値」を示すものとなる。こうして農業は元気になり、儲かる農業が実現される。
- ・ まずは地域の人が、自分の住む地域に自信や誇りを持ち、情報発信していくことが必要。
- ・ 米の「味度値」など数値化した指標を作り、「安全・安心」を「見える化」したい。

(参考) パネリスト等

ファシリテーター

福田 布貴子 (福井テレビ アナウンサー) (第1部)

冨永 良史 (発創デザイン研究室 代表) (第2部)

パネリスト (第1部)

郡司副大臣

下島 栄一 (農業生産法人かみなか農学舎 取締役)

松原 宏文 (合同会社笑人堂 生産管理部門代表)

田中 滋子 (ロハス越前 事務局長)

合瀬 宏毅 (NHK解説委員/食料・農業・農村政策審議会企画部会委員)

パネリスト (第2部)

冨田 隆 (JA越前たけふ 理事長)

藤井 正和 (サバエシティホテル 総料理長)

義元 孝司 (株式会社アジチファーム 代表取締役)

田中 滋子 (ロハス越前 事務局長)

(以上)